

「緊急事態宣言下でも献血は必要です」

2020年4月15日

平素より献血にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

中四国地域では、新型コロナウイルスの影響により献血協力者が減少しています。4月15日以降5月6日にかけて献血バスの中止（25台）等により、400mL献血が約**1,860人分**計画より下回ることが予想されます。

「献血へのご協力は不要不急の外出にはあたりません」

毎日約3,000人あまりの患者さんが輸血用血液を必要としています。

患者さんの命を守るためには、日々安定した献血協力が必要です。このような状況の中でも輸血用血液の供給に支障をきたさないよう、皆様には、献血される方が一時期に集中することによる密集や密接を避けるため**特に平日のご予約**による献血へのご協力をお願いいたします。

なお、献血会場にお越しの際は、感染予防のため**可能な限りマスク着用**をお願いいたします。

緊急事態宣言時に事業の継続を求められる事業者

○医療体制の維持

・献血を実施する採血業

(新型コロナウイルス感染症対策本部より)

